

沖労発基 0702 第 2 号
令和 3 年 7 月 2 日

関係団体代表者 殿

沖縄労働局長
(公印省略)

職場における熱中症予防対策の強化について (要請)

平素より、労働安全衛生行政の推進に御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今年度の職場における熱中症予防対策につきましては、令和 3 年 3 月 22 日付け沖労発基 0322 第 7 号「令和 3 年『STOP! 熱中症クールワークキャンペーン』の実施について」により取り組んでいただいていることと存じます。

しかしながら、今年は5月中旬に熱中症による死亡災害が発生しており、6月未までに報告された熱中症が原因の休業4日以上労働災害が昨年同期の報告数を上回っています(別添1「令和3年熱中症による労働災害発生状況一覧」参照)。

沖縄労働局管内における熱中症による死亡災害の発生は平成 29 年以來のことであり、休業災害も増加している中で、熱中症のリスクが高まる梅雨明けを迎えることから、これまで以上に熱中症予防対策の徹底を図る必要があります。

つきましては、貴団体におかれましても、下記に掲げる「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」の重点取組期間(7月1日~7月31日)の重点実施事項を始め作業状況に応じた熱中症予防対策の徹底に向けて、会員各事業場に対する周知・指導の強化をお願いいたします。

記

- 1 対策の再確認及び必要に応じた追加対策の実施
- 2 WBGT 値(暑さ指数)に応じた作業の中断・短縮・休憩時間の確保
 - ・ WBGT 値の測定と作業計画への活用
- 3 水分・塩分の積極的な補給
- 4 体調管理(過度な飲酒の抑制及び朝食の摂取を含む)
 - ・ 健康診断の結果や日々の活動を通じた当日の労働者の健康状況の把握
- 5 重点的な熱中症予防教育



- ・ 事業場における熱中症予防対策等の教育の実施

6 異常時の速やかな医療機関への搬送

- ・ 現場で熱中症患者が発生した際における救急隊の要請

(参考資料)

別添2 リーフレット「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン ―熱中症予防対策の徹底を図ろう―」

- ※ 上記に掲げる「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」の重点取組期間(7月1日～7月31日)の重点実施事項を始め各種実施事項のチェックリストとして活用できます。

別添3 リーフレット「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン ―社内教育に、ポータルサイトを活用しましょう―」

- (※1) 職場における熱中症予防基本対策要綱、各種資料(上記5の教育に活用できる情報等)等が掲載されたポータルサイトが紹介されています。
- (※2) ポータルサイトには多言語用のリーフレットも掲載されておりますので外国人労働者への周知等にも活用できます。

別添4 リーフレット「建設現場における熱中症予防と新型コロナウイルス感染防止」

- ※ 単独作業の場合、屋外で十分な距離が確保できる場合等のマスク着用の要否の考え方等が示されています。

(担当) 沖縄労働局 労働基準部 健康安全課
電話 : 098-868-4402 (小池)



一般社団法人沖縄県労働基準協会
建設業労働災害防止協会沖縄県支部
陸上貨物運送事業労働災害防止協会沖縄県支部
港湾貨物運送事業労働災害防止協会沖縄総支部
林業・木材製造業労働災害防止協会沖縄県支部
一般社団法人労働安全衛生コンサルタント会沖縄支部
社団法人沖縄県警備業協会
公益社団法人沖縄県トラック協会
一般社団法人沖縄県倉庫協会
沖縄基礎工業協同組合
沖縄県港湾協会
一般社団法人沖縄港運協会
一般社団法人沖縄県ビルメンテナンス協会
日本分蜜工業会
沖縄県左官業組合連合会
一般社団法人沖縄県バス協会
一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会
一般社団法人沖縄県警備業協会
沖縄県商工会議所連合会
沖縄県商工会連合会
一般社団法人沖縄県木材協会
日本労働組合総連合会沖縄県連合会
一般社団法人沖縄県電気管工事業協会
沖縄県電気工事業工業組合
一般社団法人沖縄県高圧ガス保安協会
独立行政法人労働者健康安全機構沖縄産業保健総合支援センター
沖縄県中小企業団体中央会
一般社団法人沖縄県経営者協会
一般社団法人沖縄県生産性本部
公益社団法人沖縄県工業連合会
沖縄県鳶土工業会
一般社団法人沖縄県医師会
一般社団法人日本建設機械レンタル協会沖縄支部
一般社団法人日本ボイラ協会沖縄支部
一般社団法人日本ボイラ協会沖縄検査事務所

一般社団法人日本クレーン協会沖縄支部
一般社団法人日本クレーン協会沖縄検査事務所
公益社団法人建設荷役車両安全技術協会沖縄県支部
一般社団法人沖縄県建設業協会
一般社団法人沖縄県自動車整備振興会
一般社団法人沖縄県歯科医師会
一般社団法人日本コミュニティーガス協会沖縄支部
一般社団法人沖縄県産業廃棄物協会
一般社団法人沖縄県造園建設業協会
沖縄県食品産業協議会
一般社団法人沖縄県食品衛生協会
沖縄県健康産業協議会
公益社団法人全日本病院協会沖縄県支部
沖縄県社会福祉協議会
公益社団法人沖縄県看護協会
沖縄県解体工事業協会
一般社団法人日本ホテル協会 沖縄支部
沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合
沖縄県飲食業生活衛生同業組合
一般社団法人日本塗装工業会沖縄県支部
一般社団法人沖縄県中小建設業協会
沖縄県鉄構工業会

令和3年熱中症による労働災害発生状況(令和3年、休業4日以上)

番号	所轄署	災害発生日	業種	年齢	性別	死亡・休業	災害発生状況
1	八重山	令和3年3月初旬	畜産業	40代	女	休業	牛舎内で牛を洗っていたところ、熱中症の症状と思われる腕の痛みとしびれが現れ、立っていられなくなった。午後から仕事を休み、夕方診察を受け熱中症と診断された。
2	八重山	令和3年5月中旬	建設業	10代	男	死亡	建物の基礎型枠解体作業中に体調を崩し、休憩後に救急搬送され、熱中症と診断された。
3	那覇(南部)	令和3年5月中旬	運送業	20代	男	休業	午後から構内で荷積み作業を行っていたところ、手足のしびれなどの体の違和感を感じたことから救急搬送した。構内の気温は30度を超えていた。
4	那覇(南部)	令和3年6月初旬	接客娯楽業	60代	女	休業	ゴルフ場でキャディとして勤務中に、吐き気とめまいで倒れこみ、救急搬送され、熱中症と診断された。
5	那覇(南部)	令和3年6月初旬	建設業	40代	男	休業	梁の配筋作業中に、手先のしびれがあり、会話の受け答えがあやふやになり、救急搬送され、熱中症と診断された。

※ 本災害発生状況は、労働者死傷病報告により作成したもの。

STOP! 熱中症

令和3年5月～9月

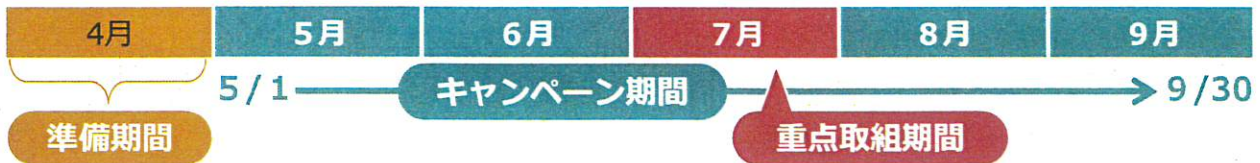
クールワークキャンペーン

— 熱中症予防対策の徹底を図ろう —



職場における熱中症により、毎年約20人が亡くなり、約1,000人が4日以上仕事を休んでいます。夏季を中心に「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防に取り組みましょう!

事業場では、期間ごとの実施事項に重点的に取り組んでください。

●実施期間：令和3年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、重点取組期間7月）



確実に実施できているかを確認し、□にチェックを入れましょう!

準備期間（4月1日～4月30日）		
<input type="checkbox"/>	WBGT値の把握の準備	JIS規格「JIS B 7922」に適合したWBGT指数計を準備しましょう。 
<input type="checkbox"/>	作業計画の策定など	WBGT値に応じて、作業の中止、休憩時間の確保などができるよう余裕を持った作業計画をたてましょう。 
<input type="checkbox"/>	設備対策・休憩場所の確保の検討	簡易な屋根の設置、通風または冷房設備やミストシャワーなどの設置により、WBGT値を下げる方法を検討しましょう。また、作業場所の近くに冷房を備えた休憩場所や日陰などの涼しい休憩場所を確保しましょう。 
<input type="checkbox"/>	服装などの検討	通気性の良い作業着を準備しておきましょう。身体を冷却する機能をもつ服の着用も検討しましょう。 
<input type="checkbox"/>	教育研修の実施	熱中症の防止対策について、教育を行いましょう。 
<input type="checkbox"/>	労働衛生管理体制の確立	衛生管理者などを中心に、事業場としての管理体制を整え、必要なら熱中症予防管理者の選任も行いましょう。 
<input type="checkbox"/>	緊急時の措置の確認	体調不良時に搬送する病院や緊急時の対応について確認を行い、周知しましょう。 

【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）

キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

STEP
1

□WBGT値の把握

JIS 規格に適合したWBGT指数計でWBGT値を測りましょう。



WBGT指数計の例

STEP
2

準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。

<input type="checkbox"/>	WBGT値を下げるための設備の設置	準備期間に検討した設備、休憩場所を設置しましょう。 休憩場所には氷、冷たいおしぼり、シャワー等や飲料水、塩飴などを設置しましょう。 準備期間に検討した通気性の良い服装なども着用しましょう。	
<input type="checkbox"/>	休憩場所の整備		
<input type="checkbox"/>	通気性の良い服装など		
<input type="checkbox"/>	作業時間の短縮	WBGT値が高いときは、 単独作業を控え 、WBGT値に応じて 作業の中止 、 こまめに休憩をとる などの工夫をしましょう。	
<input type="checkbox"/>	熱への順化	暑さに慣れるまでの間は 十分に休憩を取り 、 1週間程度かけて徐々に身体を慣らし ましょう。 特に、 入職直後 や 夏季休暇明け の方は注意が必要です！	
<input type="checkbox"/>	水分・塩分の摂取	のどが渇いていなくても 定期的に水分・塩分 を取りましょう。	
<input type="checkbox"/>	ブレイクリング	休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょう。	
<input type="checkbox"/>	健康診断結果に基づく措置	①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢 などがあると熱中症にかかりやすくなります。 医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。	
<input type="checkbox"/>	日常の健康管理など	前日のお酒の飲みすぎはないか、寝不足ではないか、当日は朝食をきちんととったか、管理者は確認しましょう。熱中症の具体的症状について説明し、早く気付くことができるようにしましょう。	
<input type="checkbox"/>	労働者の健康状態の確認	作業中は管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。	

STEP
3

熱中症予防管理者等は、WBGT値を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。



- WBGT値の低減対策は実施されているか
- 各労働者が暑さに慣れてきているか
- 各労働者は水分や塩分をきちんと取っているか
- 各労働者の体調は問題ないか
- 作業の中止や中断をさせなくてよいか

□異常時の措置

～少しでも異常を感じたら～

- ・ **いったん作業を離れる**
- ・ **病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ**
- ・ **病院へ運ぶまでは一人きりにしない**

重点取組期間（7月1日～7月31日）



- 実施した対策の効果を再確認し、必要に応じ追加対策を行いましょう。
- 特に梅雨明け直後は、WBGT値に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。
- 水分、塩分を積極的に取りましょう。
- 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましょう。
- 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょう。
- 少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく、病院に搬送しましょう。



建設現場における熱中症予防と新型コロナウイルス感染防止

～建設現場におけるマスク等の正しい選び方、使い方について～

建設現場で必要な対応

混在作業が行われる建設現場では、マスク等の着用も含め、一人ひとりの感染防止に向けた対応が職場全体の感染リスクを抑えることにつながります。

換気の悪い屋内空間において複数人で作業を行う場合にはマスク等を着用する必要がありますが、単独作業の場合や屋外で他の作業員と十分な距離（2m以上）が確保できる場合などでは、熱中症予防の観点からマスク等を外した方がよい場合も考えられます。

熱中症予防に配慮した上で、感染防止を図るには、「マスク等を着用する場面」、「マスク等の選び方」、「正しい着用方法」を作業員一人ひとりに徹底することが重要です。

1 作業に応じたマスク等の選び方

① マスク等の種類と特性

マスク等は、飛沫の飛散防止、飛沫の吸入防止のために着用するものですが、様々な種類のものがあります。市販の不織布マスクをはじめ、一般に使用されているマスク等を建設現場で使用すること想定した場合の特性をまとめると次のとおりです（※1）。

【◎：優れている】、【○：良好】、【△：普通】、【×：やや劣る】

	顔面への密着	フィルタの密度	飛沫吸引防止	飛沫飛散防止	呼吸しやすさ	快適さ/蒸し暑さ
不織布マスク	△	◎	○	◎	×	△
布マスク	△	△～○	△	○	△	△
ウレタンマスク	△	△	△	○	△	○
マウスシールド	×	×	×	×	◎	◎
フェイスシールド	×	×	×	△	◎	◎
ネックガード	△	△	△	○	○	○
取替え式防じんマスク(※2)	◎	◎	◎	◎	×	×
使い捨て式防じんマスク(※2)	○	◎	◎	◎	×	△

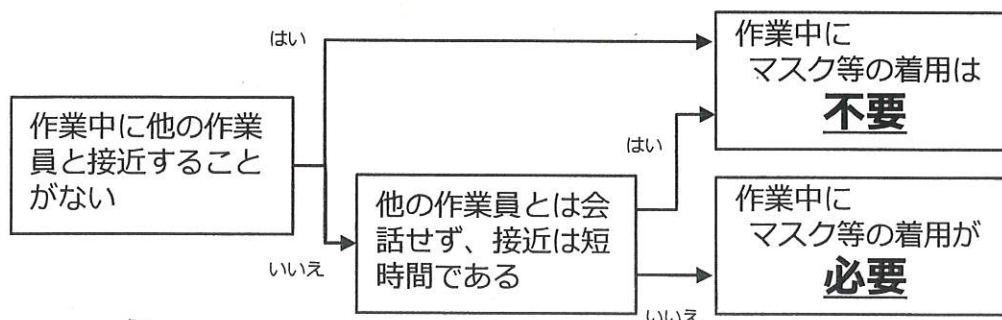
（※1）令和2年度厚生労働科学特別研究事業「建設現場での作業等におけるプロテクタの選定・使用ツールキットの開発に関する調査研究」をもとに作成したもの。調査研究は一部の製品を対象として測定を行った結果を取りまとめたものであり、個々の製品によっては上記の表とは特性が異なる場合があります。

（※2）一定の作業の際は、労働安全衛生関係法令に基づき、防じんマスクの着用が義務付けられています。

② マスク等を着用すべき場面

建設現場における作業は、単独作業や他の作業員と十分な距離（2m以上）をとって行われる場合がある一方、「朝礼」や「作業工程の確認」などのほか、「休憩・食事」、「工事用エレベータでの集団での移動」など、作業員同士が近くに集まる場面もあります。

管理者は、個々の作業が行われる状況を踏まえ、マスク等を着用すべき場面を特定し、作業員一人ひとりに周知してください。



ここがポイント！
マスク等着用の「必要」、「不要」は「場面の切替わり」によっても変化することに注意（裏面の14参照）

③作業負荷とマスク等着用による熱中症リスク

マスク等の着用による新型コロナウイルスの感染防止効果や熱中症発症リスクについては、現時点では定量的に明らかになっていませんが、令和2年度に実施した研究(*)の結果、以下のようなことが分かっています。

- ①マスク等の着用により呼吸時の負担感が増加し、飛沫飛散防止等の効果が高いものでは息苦しさを強く感じる
- ②軽い負荷の運動では、マスク等の有無により深部体温の上昇には差がない
- ③マスク等の内部の「酸素濃度の低下」、「二酸化炭素濃度の上昇」が見られた(軽い負荷の運動では血液中のガス濃度に影響はないが、高負荷作業には注意が必要)

(*) 令和2年度厚生労働科学特別研究事業「建設現場での作業等におけるプロテクタの選定・使用ツールキットの開発に関する調査研究」

④マスク等の選定に当たっての考え方

○ マスク等の選定に当たって考慮すべき事項

飛沫飛散防止等の効果が高いマスク等を着用していても、作業中の息苦しさを和らげるため、顔とマスク等との間に隙間を作った場合には感染防止効果が低下します。

マスク等の選定に当たっては、①作業負荷のほか、②作業時の人との距離、③作業場所の状況、④連続作業時間、⑤コミュニケーションの取りやすさなどにも留意しましょう。

○ マスク等が必要な場面への備え

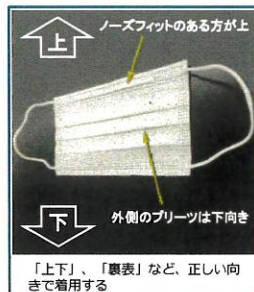
休憩や昼食、作業連絡、車両やエレベータでの移動などの際に他の作業員と十分な距離が確保できない場合には、マスク等の着用が必要になります。マスク等の着用が不要な作業であっても、「場面の切替わり」に備え、マスク等を携帯しましょう。

⑤マスク等の着用状況と接触感染

マスク等を着用しない、又は飛沫飛散防止効果が低いマスク等を着用して作業を行った場合、作業対象や工具等に飛沫が付着する可能性が高まります。複数の作業員が共用する工具等や操作盤などについては接触感染防止のため、こまめに消毒しましょう。

2 マスク等の正しい付け方と効果

作業中の息苦しさを「あごに掛ける」、「鼻を出す」など、正しい方法で着用しなかった場合、マスク等の感染防止効果が低下します。マスク等は正しい方法で着用し、息苦しさを感じた場合にはマスク等を外せる環境で休憩をとるようにしましょう。



3 現場管理者の役割

①計画段階での検討

計画段階から、換気の悪い室内での作業や作業員同士が接近する機会を減らすよう努めましょう。

(例) 朝礼の工夫、作業時間帯や休憩時間の分散、マスクを外せる休憩場所の確保等

②現場でのルール化

熱中症予防と感染防止に向けた現場のルールを定め、徹底しましょう。

(例) マスク等を着用すべき場所の掲示、休憩場所の使い方、職場外での留意事項等

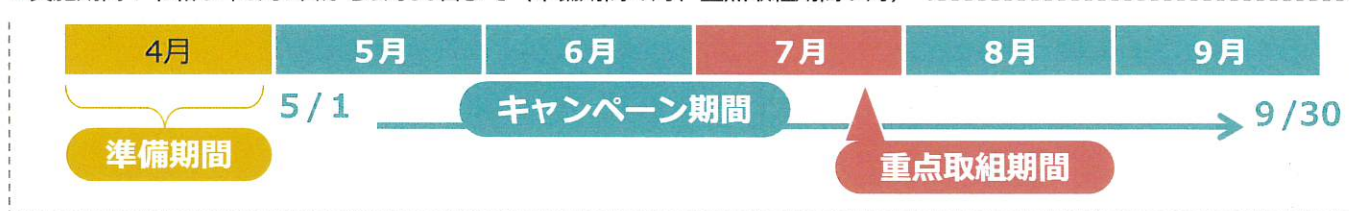
STOP！熱中症

2021年5月～9月

クールワークキャンペーン

社内教育に、ポータルサイトを活用しましょう

●実施期間：令和3年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、重点取組期間7月）



熱中症は、気温が上がり始める5月下旬から発生しています
 湿度が高くなる6月下旬に増加します
 7月に暑さが増すと、救急搬送が急増します

2021年5月 ポータルサイトを充実させました

スマートフォン対応

- 社内の熱中症予防担当者向け、E-learning教材
- 昨年の講習会の動画を掲載
- 2021年3月のJIS Z 8504改正に対応して通達を更新



QRコード

＜安全衛生機関や関係企業のみなさま＞
 ホームページに、ぜひリンクを掲載ください。
 ＜熱中症に取り組む企業のみなさま＞
 イン트라ネットにリンクを掲載し、社内教育に活用ください。

ポータルサイトはこちら <https://neccyusho.mhlw.go.jp/>

バナーは、こちらから切り取って活用ください ページ下部

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/index.html